

第2回横浜市都筑区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会議事録	
日 時	平成27年5月15日（金）午後5時00分～午後6時30分
開催場所	都筑区役所2階研究室
出席者	北岡英子委員、荒井清志委員、杉田文江委員、長沼義雄委員、宮田洋子委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者0人）※ただし、議題3～4は非公開
議 題	1 会議の公開・非公開について 2 指定管理者の審査方法等について 3 面接審査 4 指定候補者の決定
決定事項	次の法人を指定候補者として選定し、都筑区長に報告する。 横浜市都筑区福祉保健活動拠点 （指定候補者）社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会
議 事	1 会議の公開・非公開について 第1回選定委員会で決定したとおり、プレゼンテーション及び審査については非公開とすることを確認。
	2 指定管理者の審査方法等について ・申請団体のプレゼンテーションの流れ及び採点・集計方法について事務局より説明した。 ・申請団体の財務状況について、荒井委員より説明した。
	3 面接審査について <プレゼンテーション 10分、質疑応答 15分> 横浜市都筑区福祉保健活動拠点 社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会 【質疑応答】 （委 員）財務分析結果のうち、経常増減差額率のマイナスが続いている理由と今後の見通しについて教えてほしい。 （法 人）人件費が膨らんだことが原因。25～26年度はプラスになる予想。 （委 員）今回、非公募での選定だが、マンネリ化しないような取組について考えがあれば教えてほしい。 （法 人）利用者の声を吸い上げる努力を心掛け、今後も行っていく。事業に対して寄せられる声を事業に活かしていく。毎年振り返りをして、次の年度に進んでいきたい。 （委 員）介護保険制度が変わることにより、担い手となる地域住民や地域活動に対する支援の充実が求められると思うが、今後の取組について考えがあれば教えてほしい。 （法 人）新しいことを立ち上げるのではなく、それぞれの地区で地区社協

	<p>が中心になってやっていけるように技法や財政面での支援を行っていく。個別の課題を地区社協と連携して解決していく仕組みにしていく。</p> <p>(委員) もう少し具体的な構想があれば教えてほしい。</p> <p>(法人) 活動計画を地区で立ち上げ、地域を把握して地区ごとの取組を研修会などの場で共有することを想定している。地道にボランティアと連携して続けていく。</p> <p>(委員) 長く続けていると、評価をしながら次の活動に反映していくことになるが評価を形に表すことはしているか。</p> <p>(法人) 年に2回、計画の振り返りを行っているところもあるので、今後も続けていく。</p> <p>(委員) 区社協としての取組や評価を地域住民が分かるように周知して次につながるようにしてほしい。</p> <p>(法人) 区社協がすべてやるのではなく地区社協で行えるよう支援していく。それぞれの活動の情報共有や財政面での支援を区社協でやっていきたい。</p> <p>(委員) 各地域や施設で募っているボランティアの取りまとめ機能を持つことはできないか。</p> <p>(法人) 区全域のボランティア活動の情報共有やボランティアの方向性を示す役割をすることが必要だと考えている。地域で育成したボランティアを補強するような取組を続けていきたい。</p> <p>4 指定候補者の決定 <最低制限基準：60%以上> 横浜市都筑区福祉保健活動拠点 社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会 総得点 636点／1,000点 最低制限基準を上回っているため、指定候補者とする。</p>
特記事項	